

なかよし運動会が教えてくれたこと 4

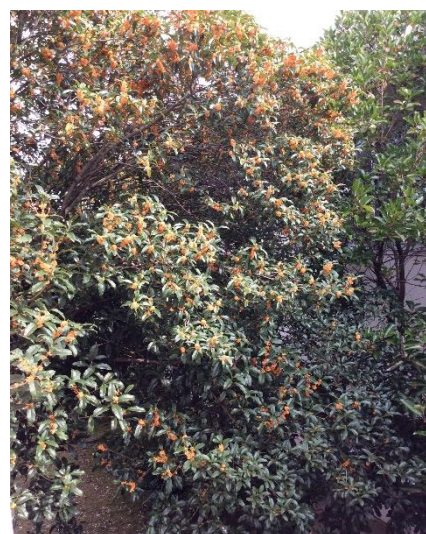
明日は「恵みの雨」子どもたちも先生方もちょっと一息つきましよう！

9月27日（水）、今日は附属中学校の「合唱祭」に参加させていただきました。会場は東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」。この会場も附属小には縁の深い場所で、かつてここで「合唱の会」が長く行われてきました。久しぶりに会場に入って、ステージが広く大きくなっていることに驚きました。

附属中の生徒のみなさんの素晴らしい合唱には本当に感激させられました。遠藤校長先生と鎌田副校長先生から「小学校からの積み上げがあるので」とおっしゃっていただきましたが、あの生徒の姿はぜひ小学生にも身近な手本として見せたい、と思っているところです。

さて、附属小で生まれた歌と言えば最近では吉川校長先生と佐藤前副校長先生に作っていただいた『心のブックマーク』ですが、平成7年にも『もくせいのおち』という歌が当時の横須賀校長先生が作詞、奈良昭男副校長先生の作曲で生まれています。

（詳しくは『もくせい36号 「もくせいのおち」裏話』参照）



ボールは高く空にはずんで
歌声 窓にひびくとき
ほのかに漂う 花のかおり
きんもくせいのおちとなる

母さんもかいだ このかおり
父さんも遊んだ この木の下
金色の花が枝にあふれる
きんもくせいのおち 最中

月は白々 冴えわたる
虫は草に すだくとき
ひそかに流れる 花のかおり
きんもくせいのおち 深く

当時はもちろん担任をしていて、毎日夢中になって子どもたちと必死に向き合っていました。この曲は合唱の会の全校合唱で歌いました（2番は確か教官だけだったかな）。

今、こうして歌詞を読んでも全く色あせない、というか、むしろ今になってこの誌の情景や世界観が分かるように思います。

2番の歌詞などまさにその通りで、今は香りもそうですがその花の美しさに目が止まります。また、附属小には保護者の方にも附属小出身の方が多く、親子でこの香りをかいだかたもたくさんいることと思います。

川内萩ホールから学校に戻ると、校庭では運動会に向けた練習が行われています。今朝のFTでは、昨日予行練習の反省会で出された「予令から動令への号令と子どもの動作の確認」が全校で行われたと聞きました。昨日の反省会のようにみんなで意見を出し合いながら意思統一を図っていくこと

ができるのが附属小の職員集団のすばらしいところ、拓郎先生（行事部長）が「最後は一人一人の子どもたちを大事にしていこう」ということを語ってくれました。先生方の前向きな姿勢が嬉しくなる話合いです。

今夜から雨になりそうです。「雨で練習が進まない！」などとは考えず、「落ちついて授業ができる」と思って、明日はしっかりと授業を進めましよう。（文責：副校長 手代木）